



# 2019年度豊山ゼミナール活動報告

## ☆米原市センターの視察

全国で会員が減少しているシルバー人材センターだが、滋賀県米原市のセンターでは、会員が急増している。その理由を探るべく、1泊2日で、ゼミ生全員で視察。増加の原因は①地域住民に会員候補生を紹介してもらう、②カフェ、マルシェの運営を行い、会員の就業機会を作っているといったものでした。

視察では、カフェで食事をいただき、マルシェで会員さん栽培の野菜の品出しを手伝い、木工体験もしました。米原市の平尾市長も来ていただきました。



## ☆会員ヒアリング

会員にとってシルバー人材センターがどのような意義をもつのか等を、個別にインタビューし、それを会報『燻』で紹介した。目的は、①記事を見て、読者会員が自分なりのセンターの利用方法を考えるきっかけになる、②詳しく聞きとることでゼミ生がセンターの役割をより詳しく知り、他の人に対してセンターについて語るができるようになるというもの。

## ☆公民館でのセンターPR

公民館に講座に来る人と、センターに仕事を求めて来る人の層が似ており、会員を増加させるために会員募集のリーフレット・ポスターを高齢者の利用が多い公民館に配架した。昨年度は東大阪市の西地区のみでの配架だった。だが今回は中地区、東地区の公民館また東大阪市の社会教区センターにも配架場所を増やし、さらなる効果アップを図った。







### ★就業風景撮影・「焔」編集補助

会員が就業している会社を訪れ、実際の就業風景の撮影、会員インタビューを行った。その内容をセンターの会報誌の記事にまとめ、編集会議にも参加し、校正作業を手伝った。会議そのものが参加者の情報交換の場になっていることもわかった。

### ★堺市センターの計画策定協力

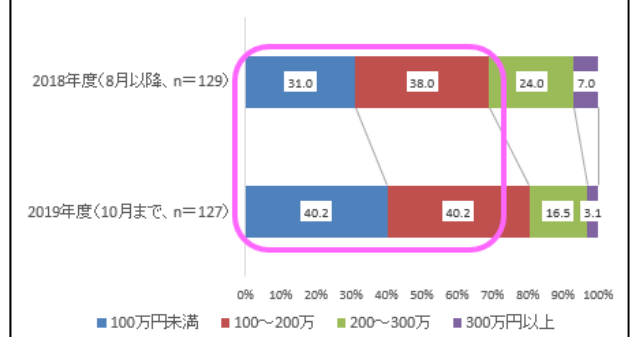
堺市シルバー人材センターの次期「中期計画」(令和2~6年度)の策定に関して協力した。会員数の減少に対し新規会員を紹介してくれた会員に粗品を進呈する報奨制度を提言した。



### ★入会説明会・講習会アンケート分析

会員に匿名でアンケートに答えて頂き、参加者の傾向や意見を集め、これからのセンターに何が必要か、改善すべき所はどこかをまとめた。入会目的では「健康維持」と「経済的理由」が増えている、年収の低い層の入会が増えているなどがわかった。

#### 2) 年収(アンケートデータ)



### ★御厨祭とん汁販売によるPR

センターとゼミのPRのために、会員さんと協力してとん汁を作り御厨祭で販売。途中で販売中止になるほど大盛況だったが、今年は5年連続1位叶わず2位だった。

